

「 ~ひとり親家庭の自立をサポートする~

■ YELL ながさき メールマガジン Vol. 258 2026. 2. 13 配信

このメールマガジンは、情報提供を希望された登録者のみなさま、および名刺交換をさせていただいた方へお送りしています。

//////// I N D E X ////////////

- ・ 特 集…ひとり親家庭支援奨学金情報  
《ローソン/松園尚己記念財団》
- ・ 支 援 情 報…市営住宅情報
- ・ 2月&3月の予定…YELL ながさき定期法律相談
- ・ 編 集 後 記…「断らない医療」  
~大村市民病院 救急医療をアップデート~

### ■ 特 集

前回の Vol. 257 では【似鳥国際奨学金】についてご紹介しました。企業や団体が提供する、ひとり親家庭を応援する奨学金制度はまだまだありません。「大学院進学は経済的なハードルが高い」と感じているご家庭にとって、月7万円の給付は大きな支えになります。進学をあきらめてしまう前に、ぜひ一度情報をご確認ください。中学生・高校生から大学院まで、さまざまな段階を支える制度があります。

### ☆【夢を応援基金「ひとり親家庭支援奨学金制度」(ローソン グループ)】

※2026年度の募集要項・各種書類は2月15日頃掲載予定です。

以下、参考として昨年度の情報です。

#### ■ 内容

月額 30,000 円 (給付型・返済不要)

#### ■ 対象 (2025 年 4 月時点)

2025 年 4 月時点で

- ・ 中学 3 年生
- ・ 高校生
- ・ 高専生
- ・ 専門学校生 (1~3 年生)

に在学予定の、ひとり親家庭の子ども

#### ■ 採用人数

全国で約 400 名程度

#### ■ 応募要件

- ・ ひとり親世帯で、経済的な理由により就学の継続が難しいこと
- ・ 学習への意欲や社会貢献への姿勢があること
- ・ 全国母子寡婦福祉団体協議会 (全母子協) の会員、または加入希望者の子どもであること

#### ■ ポイント

- ★ 返済不要の給付型奨学金
- ★ 他の奨学金との併用可能
- ★ 月 3 万円の継続支援が家計の安定に大きく寄与

■実施主体

株式会社ローソン（ローソン グループ）  
全国母子寡婦福祉団体協議会（全母子協）

▼詳細・募集案内はこちら

ローソンHP

<https://www.lawson.co.jp/company/activity/social/bokin/kikin/>

全国母子寡婦福祉団体協議会（全母子協）

<https://www.zenbo.org/>

☆【松園尚己記念財団「テイクオフ奨学金」（給付型）】

※長崎から未来へ羽ばたこうとする学生を力強く後押しする奨学金です。

※2026年度募集要項は必ず財団HPでご確認ください。

■内容

月額 70,000 円（給付型・返済不要）

年間 84 万円支給

※初回は 4～6 月分をまとめて支給、その後毎月支給

■対象（2026 年 4 月時点）

- ・大学（短大を除く）へ進学予定の方
- ・高専本科 4 年生・専攻科 1 年生に進級予定の方
- ・大学院（修士課程・博士課程・専門職大学院）へ進学予定、または在学中の方

※長崎県在住者、または長崎県内高校出身者など、長崎県にゆかりのある方が対象

■応募要件

- ・経済的支援を必要とすること
- ・学業継続の意思と向学心があること

※詳細な所得基準や条件は募集要項をご確認ください。

■給付期間

在籍校・在籍課程の正規の最短修学期間

（例：4 年制大学なら 4 年間、修士課程 2 年間など）

■募集時期（2026 年度予定）

3 月上旬～4 月上旬頃（必着）

■ポイント

- ★ 返済不要の給付型奨学金
- ★ 他の奨学金との併用可能
- ★ 大学生・大学院生対象で月 7 万円は非常に手厚い支援
- ★ 研究活動や生活基盤の安定に大きく寄与
- ★ 長崎県ゆかりの学生を応援する地域密着型奨学金

■実施主体

公益財団法人 松園尚己記念財団

▼詳細はこちら

<https://www.mhmf.or.jp/>

■支援情報

《市営住宅情報》

《長崎市》

▼令和8年度 市営空宅空家募集年間スケジュール(予定)

<https://www.city.nagasaki.lg.jp/uploaded/attachment/52746.pdf>

●随時募集●

<https://www.city.nagasaki.lg.jp/uploaded/attachment/53642.pdf>

《諫早市》

●随時募集●

<https://www.city.isahaya.nagasaki.jp/uploaded/attachment/23724.pdf>

《雲仙市》

●随時募集(先着順)●

<https://www.city.unzen.nagasaki.jp/ijuu/kiuji0034442/index.html>

《佐世保市》

●随時募集●

<https://x.gd/eawLkq>

《平戸市》

●随時募集●

[https://www.city.hirado.nagasaki.jp/kurashi/life/sumai/shiei/files/kouei\\_jutakuzuiji071215.pdf](https://www.city.hirado.nagasaki.jp/kurashi/life/sumai/shiei/files/kouei_jutakuzuiji071215.pdf)

※募集内容の詳細や収入基準、ひとり親世帯の優遇制度の有無については、各自治体または住宅公社へ直接お問い合わせください。

■ 2月&3月の予定

《事前予約受付中》

「YELL ながさき無料定期法律相談」

☆2月18日(水) 13:00~16:00

鷲見 賢一弁護士

弁護士法人 ALAW&GOODLOOP 長崎オフィス

<https://x.gd/zsklm9>

☆3月18日(水) 13:00~16:00

池内 愛弁護士

山下・川添総合法律事務所

<http://www.yamashita-lo.jp/>

※長崎県弁護士会所属です。

※日程が合わない場合はご相談ください。

※来所しての相談が難しい場合は、電話法律相談も行っております。まずはお問合せください。

【お問合せ・お申込み】

095-801-4445 YELL(エール)ながさき

■ 編集後記 — Today I choose joy!!! —

「断らない医療」～大村市民病院 救急医療をアップデート～

先日のテレビ番組で、大村市民病院の救急医療の取り組みが紹介されました。テーマは「断らない医療」。救急の現場を大きく変える取り組みです。

きっかけは、病院長が後輩医師から投げかけられた一言でした。

「今の時代、個人でもテレビ電話をしたり写真を送ったりできるのに、救急の受け入れはずっと電話とボールペンですよ。おかしいと思いませんか。」

救急搬送が増加し、より迅速な判断が求められる中で、大村市民病院では救急隊と病院がリアルタイムで映像やバイタル情報を共有できる『ビジュアルトーク（映像伝達）』を導入。搬送中から患者の状態を把握できる体制を整えることで、受け入れ判断の迅速化と柔軟な対応を可能にしています。

さらに院内では、診療科の垣根を越えた連携を強化し、専門外の症例であっても「まずは受け入れる」という方針を徹底。加えて、北里大学との連携により第三者の視点を取り入れた改善も進められ、実効性の高い救急体制づくりが進んでいます。

こうした取り組みは、子どもの急な発熱やけがなど、夜間や休日の不安を抱える家庭にとって大きな安心につながります。地域全体の医療体制を支える、確かな一歩と言えるでしょう。

「今のやり方が当たり前」と思わなかった一人の医師の問いかけにトップが耳を傾け、地域の“断らない医療”を動かしました。私たちの暮らしの中にも、「本当にこれでいいのだろうか？」という小さな問いがあるかもしれません。変化は、そんな「違和感」から始まるのだと思います。子育てや仕事に追われる毎日の中でも、小さな問いや気づきを大切にしていきたいですね。

最後までお読みいただきありがとうございました。